

来月末まで「北海道衛星社」設立

町、公共施設提供を検討

07年度、人工衛星「大樹」打ち上げへ



小型衛星「大樹」について説明する佐鳥氏、福島氏(右から)

【大樹】2007年度の打ち上げを目指し、小型人工衛星「大樹」の開発に取り組み道夫の佐鳥新助教授らは26日、町経済センターで「大樹町宇宙産業」(セミナー)を開いた。この中で、「北海道衛星株式会社」(佐鳥新社長)を11月末までに資本金150万円で設立することが明らかになった。町は「できる限り支援したい」と、町内の公共施設を同社の拠点として提供することを検討している。(松村智裕)

セミナーは佐鳥助教授の福島充副理事長が「北 同衛星へ生かすことで町が理事長を務めるNPO 北海道衛星株式会社」設立 分野開拓など、十勝経済法人宇宙空間産業研究会 について説明した後、衛 の活性化を強調した。(本部札幌)が主催し、星画像の農業分野への活用などを説明。農業振興 にも、衛星技術を核 としたさまざまな製品の開発、管内企業の技術をつた通信機器を搭載し、

約90分間で地球を1周する。光を波長別に分ける高精度の「ハイパースペクトルカメラ」で、病気の变色や成分の含有量など農作物の生育を撮影できる。打ち上げまでの費用は約10億円。佐鳥助教授は「北海道衛星「大樹」による農作物の高い品質管理を行い、十勝ブランドの知名度向上を促したい。ハイパースペクトルカメラは他分野でも利用でき、商業価値は高い」と説明した。来場者からは「牧草の栄養価把握といった酪農業への活用もできるのか」と活発に質問が寄せられていた。

と
19町

南とかち

- ▶ 広尾町 ◀
- ▶ 大樹町 ◀
- ▶ 忠類村 ◀
- ▶ 更別村 ◀
- ▶ 中札内村 ◀